

三小 育友会報

発行・育友会
編集・文化部
印刷・栄堂
印刷部

会報発刊によせて

育友会長 藤田実

文化部を中心とする方のほねおりで、こんど会報が誕生したことをうれしく思います。会員の皆さんが、日頃考えていらつしやることをこの紙上の広場で話し合い考合つて、「教育」を高め深めることは有意義であると思います。進んでやまない教育の流れ、のび

子ども、私たち両親も、たゆまず励んでいきたいものです。会報発刊をよろこぶとともに、おほねおりに感謝いたします。

あたらしく誕生したる会報の
真実をこそあゆみてゆかむ

ごあいさつ

学校長 菅藤恒保

当校にまいりましてから早や三年目を迎えました。過ぎにし二年、あわただしかつたとはいえ、学校の概要や地域の事情もほぼわかつたようです。今三小は新しい飛躍への画期

的出発点に立たされているのではな
いかと存じます。父母の皆さま方と
しつかり手をつないで、学校教育の
深遠なる真実をみつめ、遍しい三小
教育の伝統を育みたいと存じます。



視察研修報告

文化部

A活動

数年来続けられていた視察研修を今年からは始めからPTAの自主的な立場で企画立案し、実施してみました。

早速文化部会によって学校の本年度の努力事項の中から種々検討が加えられ、旅行委員会が構成され次のような方法や内容で具体的に話がきめられ実施されました。

一、期日 六月六日

二、方法 島鉄バス貸切(三台)

三、経路 島原(広馬場)→多比良(航送船)→長州→佐賀市内

四、視察校 榑野→諫早→島原。

①北川副小学校

(特殊学級(身体虚弱児)給食指導)学校施設、PTA活動

②赤松小学校

器楽指導(昨年器楽コンクール九州地区で一位)給食施設、PTA活動。

③勸興小学校

(学校図書館、学校施設、PT

五、参加人員 一一一名。

結果は参加者がそれぞれの立場で目的をもたれ、直剣に取り組んでいただき、本場に「自分たちの研修が」との感を強くしました。従って視察中の質問や、帰つた後の反省会をおうかがいしたり、又各部からの報告書など見せていただいても、例年にならぬ幅と深さがあつたようです。

また、その中のいくつかはすでに本会でも取り上げられ実施のはこびに至っているようです。後の各校視察報告は各部より相当の報告内容が寄せられました。紙面の都合で全部のせることができず割愛せざるをえませんが、報告書や資料など事務局にごさいますので、いつでもおいで下さい。

①北川副小学校

伝統と稔りの豊かさを誇る佐賀市の郊外広々とした佐賀平野の一隅にある北川副小学校へ一步をふみ入れ

ました。甘くうれた麦のにおいの中で諸々の施設を見聞きしてきました。まず才一にあげるとは、この学校のPTAの学校に対する純粋な態度です。可愛い子供達の幸福は教育優先にあるとして骨身惜まず学校に協力をする。一つのあらわれとして、

学校のプールが開かれたあとは忙がしい中に野良着姿の父母が交代で危険防止の監視役をつとめること。後援会を組織して学校の諸設備の充実をはかっていること。補導部を設けて盛んな活動をしていること等があげられます。また教育は母親だけにまかせられないというので、父親学級なるものが誕生し着々とその成果を上げていくことでした。

次に、特殊学級を參觀しました。数少ない佐賀県下での特殊学級です。当三小と異なり、身体虚弱児、身体不自由児のみを收容している養護学級で、現在二十名ほどの一、二年生の複式学級でした。一人の女先生のもとに、國王の勉強をしていました

が、とても楽しそうにタレモンをぬりたくっていました。学級内の諸設備は三小と大差なく、むしろ三小の方がいいのではなからうかと思いましたが、担任の先生始め

が、学校医の指導のもとに学級の子供達をあたたかく見つめていられるのには、頭が下がりました。「手をつなぐ会」というのが県内にあつてこの学級の父母は皆それに加え、お互いに励ましあつていそうです。

次に給食場へまいりました。給食は一昨年に開設したそりで、週に五日、一食につき二十五円也だそりで、一カ月に四百十円で、更に別に十円の寄付金を徴収し、全児童の給食を実施しています。当校は保健体育の面で表彰をされた学校で給食の設備には万全を期してありました。明るい清潔なパン置場、調理室はさることながら、カロリー計算表、献立表など一見してよくわかるように工夫されており、特に学年によつてパンの量を加減してあるなど、参考になる面が多くありました。

数多くの取組を得、明日への希望と計画を胸に北川副小にわかれを告げてまいりました。

② 佐賀市立赤松小学校

「赤松小」は佐賀市赤松町一番地、旧佐賀藩跡にあり旧城の堀に囲まれた、佐賀大、高、中、各学校

だけが集まつて勉強するのに大へんよい所です。児童は一八〇〇余名で三小よりやや多いくらいですが、校舍等は古い木造家屋が多くて義務制の学校だけでも二十七校もある県庁のある都市の真中にある小学校としては正直にいつて決して立派とは言へません。しかしプールだけは立派なのが出来ています。だが、中味の道具だけはちゃんとそろつています。視聴覚教育用の機械器具、図書室の本や備品、給食室には食器の消毒装置が完備し、保健室は診療室と寢室が別室になっています。すなわち、

ぜいたくはしないが必要なものはやんとしてそろつているといえます。プールも周囲に川や沼が一杯いあります汚なくて泳ぐ所が無いから必要なのです。次に「赤松小」の印象の重なるものをあげてみます。

(一) 校風 すべてを児童生徒中心にやる。これは当りまえのことです。すがそれを徹底してやる。たとえばコンクール等のために生徒に特別な訓練を施すようなことはしな

いというようなことです。特色 器楽演奏が盛んで昨年度の九州大会で優賞し、います。

それが特別に訓練したからではなく、この学校には伝統的に優秀な音楽の先生が集まること、父兄の理解が深くマ、さんコーラスの運動などがパツクになつて出来たものだということ。 P・T・A 体育保健部、図書部、補導部、音楽部、給食部に分かれ、補導すなわち「しつけ」を重視し、音楽「生徒の器楽、マ、さんコーラス」に力を入れ、給食を保健と分けて献立等に注意し、食栄養、食衛生に気をつけていることが想像されます。

まとめますと、設備は中味に重点をおき、子供の「しつけ」と健康に注意し、学校は学習才一に、という健全な学校ということ。 ③ 衝突 (かんこう) 小学校 (学校のあらまし)

佐賀市の中心部にあり、駅から歩いて約五分ほど。付近には商店街、銀行や会社などのほか、映画館やその他の娯楽施設などもあつて、児童の校外補導上の問題も少なくない。

三小と同じお八八年の古い歴史を有し、伝統を誇り教育への関心も深く、学校への協力も積極的だとのこと。

児童数約千五百、三小より百人ほど少ない。

(学校の施設)

本校舎の大半は昭和二十二年の火事による焼失後建て直ったもので、一部に旧校舎を使用している。主な施設としては、

プール 昭和三十三年八月完成、これができるまではPTAの非常支努力がはらわれたとのことで、これにより現在殆んど全部の児童が泳げるようになったとのこと。

給食調理室 近く最近完成したとのことだが大へん明るくて滑りつである。これで全児童への完全給食が行なわれている。

放送室 三小を見学して教えられた、とのことであるが、中の主な機械を先生方が、夏休み中の華工作業によって組立てられたということに大へん感心した。

図書室 独立一戸建ちの高学年用と、普通教室利用の低学年と二ツあり、広さや本の数など設備はそれ程どすくれているとは思えな

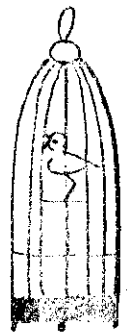
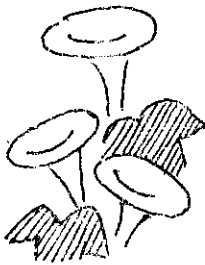
かた、児童の利用が盛んなことで、これまでに二回ほど表彰をうけたとのことだつた。市費による司書(補)が一名いて、いろんな世帯をしてしている。

(教育の重点)

今年度は特に生活指導、安全教育や理科、視聴覚教育、給食指導などに重点を置いて教育されるとのことである。

(PTA活動)

特に変わったことはいないが、親善の運動競技大会や、プールの監視、図書委員による図書選定会や、製本修理事業推進など興味深く感じた。組織としては、専門委員会(図書、給食、体育)と生活指導委員会の活動が参考になるのではないかと思



三小歌声の会

誕生

去る六月二十七日三小育友会による歌声の会が産声をあげました。この会は歌うことを通じてP・T・Aの会の親睦をはかり、会員相互の敬愛を高めていこうとするものです。P・T・A活動が、単に経済的援助をするのでなく、精神的な援助の手を学校教育の中にさしのべる時にこそ、社会、学校、家庭が一体になることができるものと信じます。そういう意味においても、歌声の会を通して、腹の底から歌いまくり、その行き帰りに子どもへの教育についてお互いの悩みを話し合うことになったらどんなにか私たちの生活にうらやみや張りが出てくるのじやなかるうかと思ひます。

才一回の歌声の会は葬会式を兼ねて、百三十余名のおとうさんおかあさんが音楽室に集まりとても盛会でした。手でゆりぎをしながらのドングリコロコロの歌にはじまり、校歌PTAの歌、鳥原の子守歌、茶つみと時間のたつのも忘れるほど、楽しいなどやかな会にすることができました。今後、山下、加藤、豊隆先生方の指揮のもとに毎月才一土曜日の二時〜三時半、才三土曜日の七時半〜九時の二回開きます。歌の内容は学校で子どもたちも学習している歌を中心に民謡、童謡、青年歌集などをやり、ハーモニカ、笛の勉強もしたいと思っております。この歌声の会が今後すくすくと伸びていくように会員の皆様と共に可愛がってゆきたいと思ひます。なおまだ会員になつていない方、町内の代議希望がございましたら、町内の代議員か加藤先生の所までお申し込み下さるようお願いいたします。ますますの発展を期しつつ……。

三小育友会 謹啓

ことばを みがく

町内ぐるみのも
運動として

どこでも、だれにでも通じること
ば(共通語)と、その土地の人やせ
まい範囲だけに通じることば(方言)
があります。学校では、共通語を身
につけさせる教育を計画的にやっ
ていますが、家庭や友だちの間は方言
が主で、共通語を聞きわけることは
できても、話すことができないのが
実状のようです。日本人は共通語の
方言を巧みに使いわける宿命を負わ
されています。方言の中でも野卑な
ことばは遠放さるべきと思います。
観光立市の立場からも市の教育方針
の中に、ことばの醇化があげられ
ています。本校では永年来努力して
一昔前とは格段の「みがき」が感じ
られますが、まだまだです。
ことばも、知恵も、母親のふとこ
ろから育つといえます。家庭や近所

の悪い影響は悪い習性ともなりません。
今、校内で……くん……さんを使う
提唱をしています。ことばをみがく
こと、ことばのひびき、それはその
人の円満な人格と、豊かな心構から
生れる泉のようなものです。学校も
家庭も、協力してこどものことばに
まわりからみがきをかけて、いきた
いものです。

◆名称募集◆

めでたく誕生しました私たちのこ
の育友会報に、皆さんでふさわしい
名まえを考えて下さい。

応募の規定は左記の通りです。

- 一、用紙・ハガキまたはハガキ
と同じ大きさの紙に
一枚に一つの名まえ
- 二、あて名・才三小学校下田文俊
先生宛。
- 三、しめ切り・八月末日。
- 四、入選の方には会長賞を差しあげ
ます。振るつて応募して下さい。

お。知。ら。せ。 お。願。い。

「夏休みのくらし」について、と
「水泳」についてのプリントを、
それぞれ配っております。

健康と安全については、特に注
意されて、家庭でわかりやすく説
明して実行させてください。子ど
もさん方が、明るい楽しい夏休み
をおくれますよう、お互いに留意
いたしましょう。

▼編集後記▲

いままで多くの人から要望されて
おりながら、いろいろな事情ででき
なかつた育友会報を発行することに
なりました。文化部が中心になって
各部の方や先生方の御協力を得て
立ち消えにならないよう努力した
と思っております。予算と原稿が問
題点だと思しますので皆様の絶大な
ご支援をお願いしたいと思いま
す。まず才一号は、先般実施した他校
視察研修記の特集といたしました。
編集のねらいは「読みやすく、分り
やすく」ということにおきましたが、
このような点についても皆様のご意
見を聞いて十分に充実させたいと思
っております。

(文化部編集係)

暑中 お見舞

申し上げます

